

★漢方談義★

「肝」と「胆」



太田 順康

「肝」も「胆」も「きも」です、図は古代東洋医学の肝と胆の解剖図です。現代医学の肝臓と胆嚢とは随分違います。

肝は右4葉、左3葉と左右にあることになってます。左側にある内臓の脾臓、脾臓の働きの一部も肝の働きとして考えているようです。

肝の働きは

- ①将軍の官謀慮出ず、外敵に抵抗する計略を立てます。
 - ②血を蔵す。血を貯蔵して血量を調整します。
 - ③筋（臓）の働きを司る。筋肉の痙攣は肝の異常によることが多いといわれます。
 - ④肝は目に開孔する。肝の気が昼間は目に出てきて物を見ることが出来ます。夜になると肝の気が肝に戻り、目が閉じて眠ることになります。肝の働きが狂うと寝付きが悪くなります。
- 酸っぱい物は肝を栄養します。しかし摂りすぎると肝も傷めます。

肝に問題がある人は癪が高く怒りっぽいと云われています。癪性なのです。

怒ると気が上って下らず胸脇に鬱滞して肝を傷つけます。ムカッとしたら、深呼吸して気を落ち着けて肝がやられないようにしてください。

肝に熱が籠ることを肝熱と云いますが、几帳面で、潔癖でキチンと物事をする人を「あの人は肝熱だから」などと云います。体が弱って仕事がキチンと出来なくなると、イライラして怒りっぽくなったり、気鬱になったりする人が多いようです。

胆の働き

- ①胆は中正の官決断出ず。（中正＝方直にして曲がらないこと）
 - ②肝胆は臟腑陰陽の關係で。肝は謀慮し、胆は決断する。肝が立てた計略が正しいかどうか判断するのは胆の仕事だそうです。
- はきはきと決断するのが早い人を「胆が太い」とか「肝っ魂母さん」とか云うのはそのためです。「胆」の小さい私などは迷ってばかりです。

お知らせ

奄憚洞

すこやか教室 山歩き

曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<9月の予定>

1日(金) 8日(金) 15日(金)

22日(金) 29日(金)

雨の多い8月でした。カラッと晴れた夏の日はないまま、秋がやって来そうです。セミの鳴き声があいつの間にか変わり、秋の虫たちの声が聞こえ始めています。毎日のように日本各地のどこかが豪雨に見舞われ、激しく降る雨音に、被災地を想う日々です。9月、暑い日はまだ続きそうですが、秋晴れを願って元気に歩きましょう。

§漢方相談日

（担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師）
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

4日(月) 11日(月) 25日(月)

§9月の休診日

18日(月・祭日)

§甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

§特定健康診査・すこやか健診(岐阜市)

特定健診：10月31日(月)まで
特定健康診査券、保険証をご持参ください。
負担額 800円

すこやか健診：9月1日(木)～11月30日(水)
ぎふすこやか健診受診券、後期高齢者医療被保険者証をご持参ください。
負担額 500円

肝臓の解毒作用は「肝」が立てる計略でしょう。又「肝」は血を蔵すは左にある脾臓の造血の働きのことの様です。(つづく)